

(様式3)

## 令和元年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	身体障害者福祉センター	所在地	伊勢市八日市場町13-1 伊勢市福祉健康センター1階
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日
設置目的	市民の福祉、健康、世代交流・地域交流等の活動の拠点施設として、社会福祉活動の輪を広げるため		
業務内容	・身体障害者の教養の向上、社会との交流の促進及びレクリエーションの実施に関すること ・身体障害者福祉関係団体に対する便宜の供与等に関すること ・ボランティアの養成及び活動等に関すること ・その他身体障害者の福祉増進に必要な事業		
施設概要	本棟 昭和63年3月完成(開館は昭和63年4月) 敷地面積6,015㎡(駐車場、緑地等含む)、建築面積(延床面積)4617.01㎡(うち本棟4407.58㎡) 本棟 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て 本棟 1階(1718.75㎡) 総合事務室、相談室、ボランティア室、社会適応訓練室、日常生活訓練室、調理実習室、伊勢市ひまわり、和室、個別指導室 等		
職員体制	センター長 1名(兼務) 事務職員 3名		
施設所管課名	障がい福祉課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	8,341,000	8,341,000	8,349,000	8,000
		利用料金	105,397	99,663	63,000	△ 36,663
		その他	0	0	32,450	32,450
		計(a)	8,446,397	8,440,663	8,444,450	3,787
	支出	人件費	2,982,970	2,096,553	3,042,199	945,646
		管理運営費	3,569,866	3,182,305	2,441,852	△ 740,453
		その他	2,366,000	0	3,703,470	3,703,470
		計(b)	8,918,836	5,278,858	9,187,521	3,908,663
	収支差引額(a)-(b)		△ 472,439	3,161,805	△ 743,071	△ 3,904,876

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	支出その他:繰入金による増。
----------------------------------	----------------

### 3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
身体障害者福祉センターの利用者は、前年度比較で1,539人、身体障害者デイサービスの利用者は、222人減少した。 利用者減には、新型コロナウイルスの感染拡大防止による事業中止、利用者の参加自粛の影響もある。 利用者が増えるよう今後もアンケート等でニーズ調査を行い、デイサービスでは、新たな教室の開催や内容の工夫、広報に努めたい。	施設の設置目的を理解し、管理運営については適正に行われていた。また、身体障害者福祉センター、身体障害者デイサービスの利用者数は減少したが、施設の設置目的については達成されたと評価できる。 今後も、利用者のニーズに即した事業展開を心がけ、身体障がい者の福祉増進に努めてもらいたい。

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

評価項目		施設名 身体障害者福祉センター			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を理解し管理運営に努めた。	A	施設の設置目的や基本方針を理解し管理運営に努めたと思われる。
	②施設設置目的の達成度	A	障がい者を対象にした教室等開催し施設の目的達成に努めた。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。
	③利用者数	B	年間利用者数は、平成30年度の28,907人に対し、令和元年度27,368人になり1,539人の減少となった。	B	令和元年度は前年度より減少した。
	④運営状況	A	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営と思われる。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったと思われる。
	⑥意思疎通	A	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	運営業務全般において、伊勢市と協議や連絡調整を行いながら業務を遂行していた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされており、月報・年報にて報告がされていた。
	⑧地域の振興	A	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	イベント開催及び開催支援を行い、地域交流を積極的に実施していた。
	⑨使用許可等	A	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可等申請の取扱いは適正に行なわれていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	帳簿は適正に作成されていた。
	⑪個人情報	A	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、適切に行われていたと思われる。
	⑫法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	法令違反は見受けられなかった。

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

評価項目		施設名 身体障害者福祉センター				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	利用者の随時申込受付や利用者募集ポスターを掲示して身体障害者デイサービスの利用者増加に努めた。	A	前年度同様、利用者増員に取り組んでいる。	
	②利用者の平等な利用	A	職員間での情報の共有等を行い、利用者への平等なサービス提供に取り組んだ。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。	
	③適切な情報提供	A	ホームページでの情報提供を行ったほか新型コロナウイルス感染症拡大防止により教室中止時には、各利用者に電話連絡を実施した。	A	適切な利用情報の提供を行っていたと思われる。	
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	緊急時を想定したマニュアル整備、避難訓練を実施するなど、適切に行われていた。	
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたと思われる。	
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	利用者ニーズに即した自主事業が行われていた。	
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	次年度に向けての見直し等を行い、次年度につなげるべく努力している。	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	設備の定期点検、建物の安全点検を行った。また植栽管理し安全の確保、美観の保持を心がけた。	A	毎月安全点検等適切に行い、月報にて報告されていた。	
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。	
	③修繕業務	A	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	毎月点検を行い、月報により適切に報告されていた。	
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	清掃は適切に行なわれていた。	
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は所定の場所に保管し、貸出簿の記入は行った。最終退館者が退館簿に記入をすることを徹底した。夜間は業者に委託し防犯対策をし問題はなかった。	A